

Janis

温水洗浄便座
SawaLet
サワレット

取扱説明書 JCS-580DRA

保証書付

目次

安全上のご注意	1
お願い	4
各部のなまえ	5

はじめに

取り付け前の確認	7
取り付けかた	8
リモコンの準備と取り付け	11
連立トイレの取り付け	14

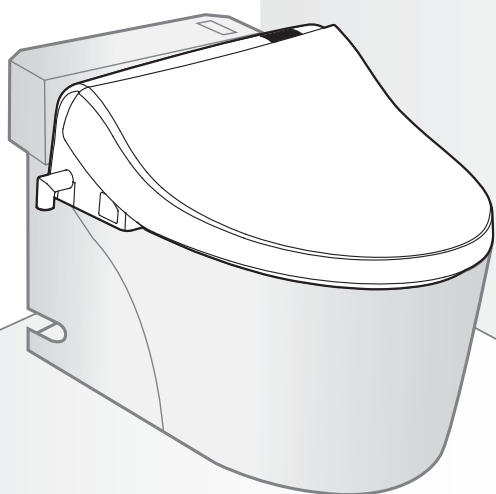
取り付けかた

使いかた	15
本体操作部の使いかた	20

使いかた

お手入れのしかた	21
異常報知について	25
凍結防止について	26
安全・安心にお使いいただくために	27
故障かな？と思ったら	29
仕様	32
保証とアフターサービス	33
点検のお願い	34
保証書	裏表紙

お手入れ・こんなときは



家庭用

- このたびは当社温水洗浄便座をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に本取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 保証書は本取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

●表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。

	この図表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この図表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告	
 分解禁止	絶対に分解したり、修理、改造はしない ・火災や感電の原因になります。
 禁止	故障したままで使いつづけない ・次のようなときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。 故障とは... ・配管や製品から水漏れしている ・製品に割れやひびが入っている ・異音、異臭がしている ・製品から煙が出ている ・製品が異常に熱い ・故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。 すぐに使用を中止し、販売店または当社に連絡してください。
 水場での使用禁止	湿気の多い場所に設置しない ・火災や感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	本体や電源プラグに水やお湯、洗剤をかけない ・火災や感電の原因になります。
 禁止	給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない ・結露などにより、火災や感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない ・感電の原因になります。

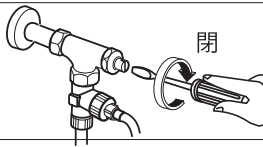
⚠ 警告

 禁 止	電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない ・引っ張らない、ねじらない、無理に加熱しない。 ・重いものを載せない束ねない、挟み込まない。 ・傷んだまま使用すると、火災、感電、ショートの原因になります。
 必ず行う	極度に免疫力が低下して医師の治療を受けておられる方は、ご使用に際し医師にご相談ください。 ・身体への著しい障害をまねくおそれがあります。
 必ず行う	低温やけどに注意する ・長い時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。 次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。 ・お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方。 ・病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方。 ・眠気を誘う薬(睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方。 ・深酒された方、疲労の激しい方など眠り込む恐れのある方。
 必ず行う	電源プラグの刃に付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む ・火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
 必ず行う	温水洗浄便座をつなぐコンセントは、ブレーカーからの単独配線で、15Aを許容する配線(VVF2mm以上)を使用する ・洗浄時に電圧降下により照明がチラつく原因になります。
 必ず行う	電源は交流100V定格15A以上のコンセントを単独で使う ・火災や感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。
 必ず行う	使用水は必ず水道水を使ってください ・使用可能な水圧範囲は 0.069~0.735MPa(0.7~7.5kgf/cm²)です。 ・0.069MPa(0.7kgf/cm²)未満の水圧では、使用できない場合があります。
 必ず行う	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く ・コードを引っ張ると電源プラグが傷んで、火災や感電の原因になります。 
 アース線 接 続	アース(D種接地)工事がされていることを確認する ・故障や漏電のときに感電の原因になります。 
 必ず行う	お手入れの時には、必ず電源プラグをコンセントから抜く ・感電の原因になります。 ※「ノズル清掃」機能使用時は除く。
 必ず行う	逆流防止装置は定期的な点検を行う ・正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流する原因になります。

⚠ 警告

 禁 止	AC100V以外で使用しない タコ足配線はしない ・火災の原因になります。
 必ず行う	飲用可能な水以外は使わない ・故障や皮膚の炎症の原因になる場合があります。

⚠ 注意

 禁 止	便座本体に乗ったり、便ふたによりかからない ・割れたり、外れたりしてけがをする原因になります。	
 火気禁止	たばこなどの火気類を近づけない ・火災の原因になります。	
 禁 止	連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない ・水漏れの原因になります。	
 禁 止	直射日光に当てない ・樹脂部品が変色・劣化する原因になります。	
 禁 止	お手入れのときは、うすめた中性洗剤(台所用・トイレ用)を使用し、次のものは使わない ・トイレ用・住宅用洗剤(酸性・アルカリ性)、ベンジン、シンナー、クレンザーおよびナイロンたわしなどを使用しない。 ・プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。 ・連結ホースを傷め、水漏れの原因になります。	
 必ず行う	水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める	
 必ず行う	凍結による破損の予防を行う ・凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れする原因になります。 ・暖房するなどしてトイレを暖めてください。	
 必ず行う	電源コードの交換 ・事故の発生を避けるため、電源コードが損傷を受けた場合の交換は、メーカー、サービス代行業者又は同等レベルの資格を備えているものを行わなければなりません。	
 必ず行う	長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、便座本体内部の水を抜く ・安全のために電源プラグを抜いてください。 ・また、水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす恐れがありますので便座本体内部の水抜きを行ってください。(26ページ参照)	

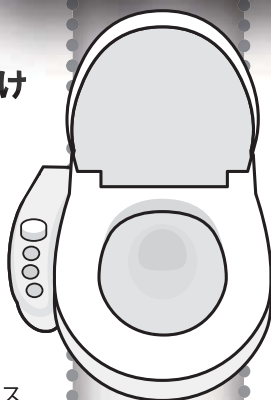
幼児、お年寄り、ご病気の方が使用される時は注意してあげてください。

温水洗浄便座 重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は 電気製品で寿命があります

故障したままで使いつづけないでください。

故障したままのご使用は、火災や感電、室内浸水の原因になります。異常に気づいたら、電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。



定期的な点検をおすすめします。

安心してご使用いただくため、定期的な点検をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。使い勝手、機能性、省エネ性能も向上しています。販売店、工事店またはメーカーにご相談ください。

安全にご使用いただくために

日ごろのご使用にあたり、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

故障したままで使いつづけないでください。火災や感電、室内浸水の原因になります。

便座や本体に小水や洗剤をかけないでください。故障や火災の原因になります。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わないでください。内部の電気部品や金属を腐食させます。

電源プラグのほこりは取り除いてください。トラッキング[※]現象で火災の原因になります。

※トラッキングとは・・・電源プラグにたまったほこりと湿気により微小電流が流れ、火花が発生する。火花によりほこりが燃えて炭化するとトラッキング(電気の道)ができる。トラッキングの起きた電源プラグを使用し続けると、やがて大量の電流が流れるようになりショートし、発火する。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックリスト

症状がひとつでも該当する場合は、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、直ちに販売店、工事店またはメーカーのサービス会社へご連絡ください。

便座・便座コード

便座や本体、便座コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 本体や便座にひびや割れがありませんか？ ゴム足は外れていませんか？
- ☐ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか？
- ☐ 便座の開閉はスムーズですか？ ガタツキはありませんか？
- ☐ 便座コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？ 焦げ臭いにおいがしませんか？

電源コード・電源プラグ

電源コードに異常がある状態で、使用を続けると、火災や感電の原因となります。

- ☐ 電源コードが熱くなっていますか？ 傷んだり、挟みこんだりしていませんか？
- ☐ 電源プラグにほこりがたまっていませんか？

水漏れ

水漏れしている状態で、使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。

- ☐ 本体や止水栓まわりから水漏れはありませんか？

一般社団法人

温水洗浄便座工業会

後援 経済産業省

〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 <http://www.sanitary-net.com>

安心・安全
に使ってね！

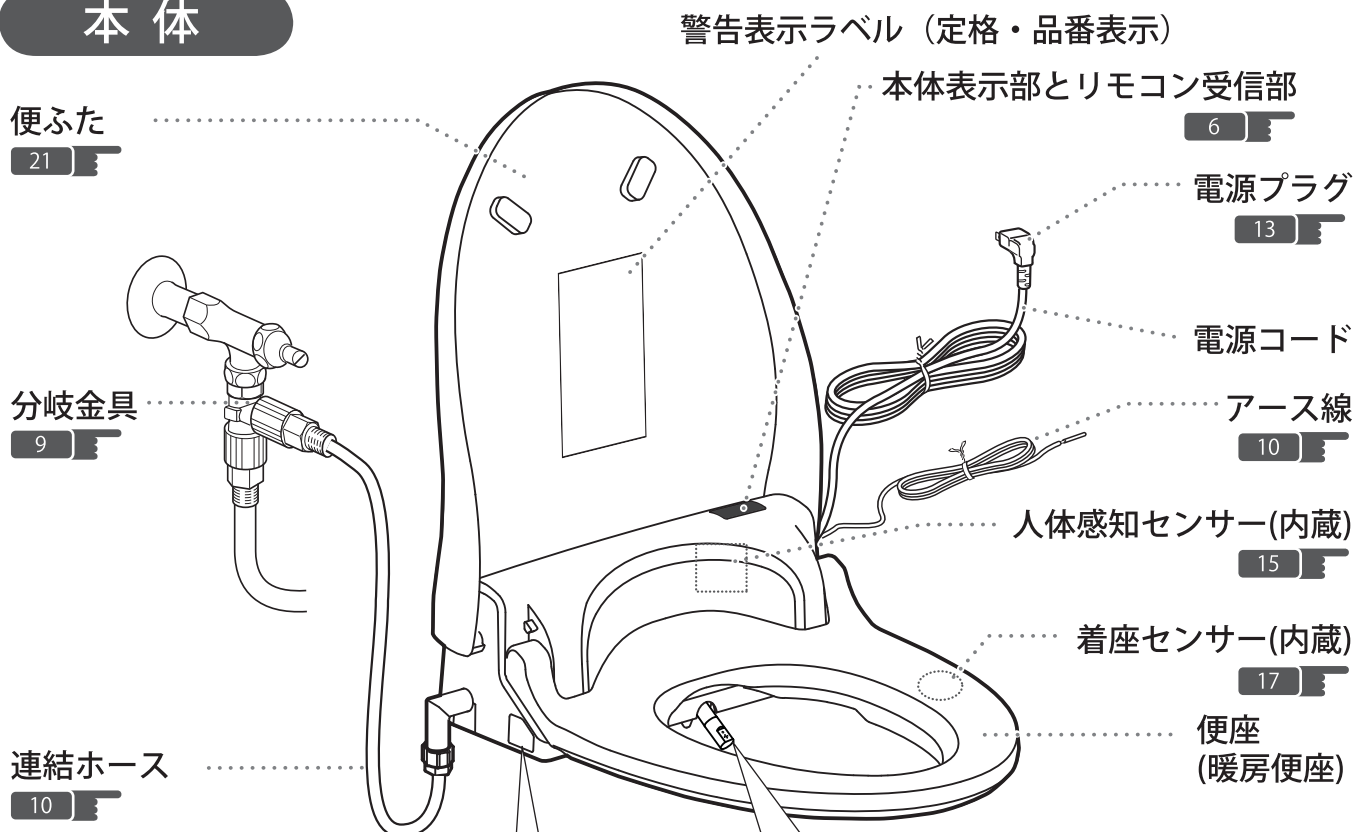


各部のなまえ

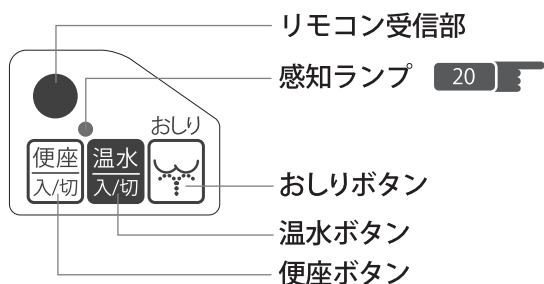


このマークの中の数字は、主な掲載ページを示しています。

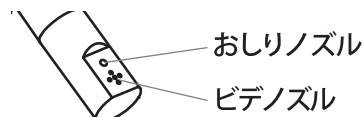
本 体



本体操作部



ノズル 23

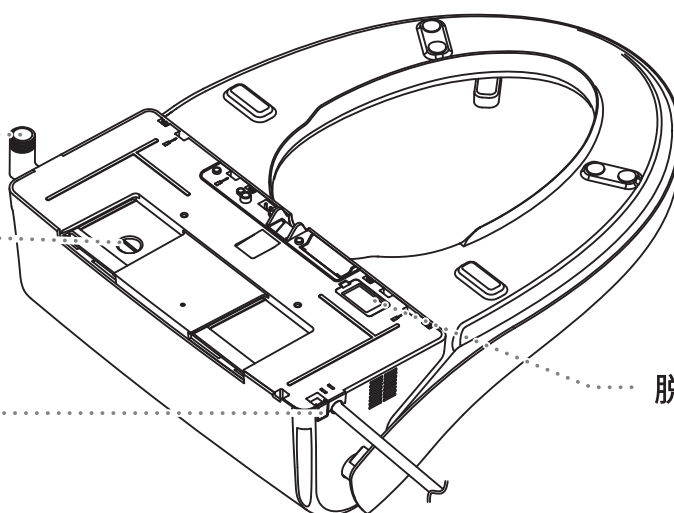


給水アダプター (ストレーナー付き) 22

排水栓 (固定プレートを外すと見えます。) 26

固定ボタン 22

脱臭フィルター 23



本体表示部

便座ランプ

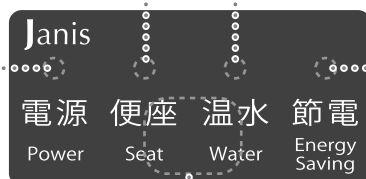
本体側面の便座ボタンで「入」に設定したとき点灯します。

15

電源ランプ

電源プラグを差し込んだときや停電があったときに点滅します。

13



温水ランプ

15

本体側面の温水ボタンで「入」に設定したとき点灯します。

節電ランプ

18

8時間タイマーもしくはセーブモードに設定しているとき点灯します。

リモコン

リモコン受信部

11

リモコンからの信号を受けます。

便ふた開閉ボタン

便座ふたを開閉します。

24

便座開閉ボタン

便座を開閉します。

24

リモコン 発信部

おしり/ムーブ 洗浄ボタン

おしりの洗浄をします。
2度押しするとムーブ
洗浄をします。

17

リモコン 発信部

止ボタン

16

ビデ/ムーブ洗浄ボタン

17

女性専用の洗浄をします。
2度押しするとムーブ洗浄をします。

ノズル位置調節ボタン

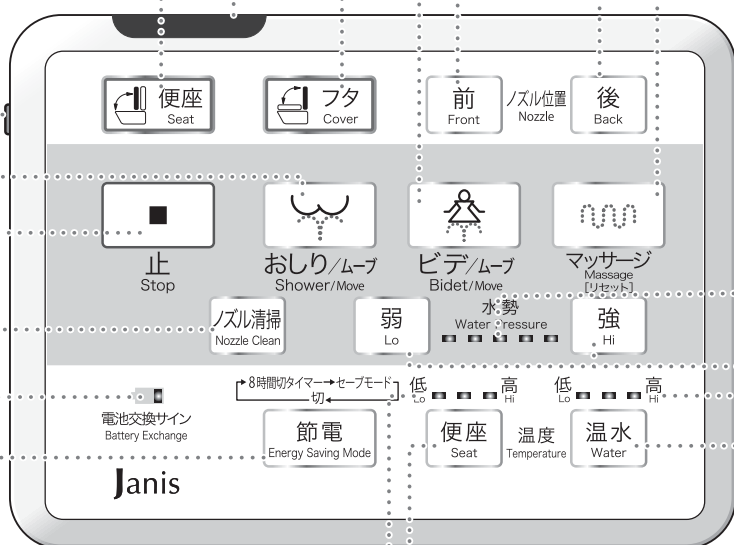
17

ノズルの位置を調節します。

マッサージボタン

16

洗浄のとき、強弱のリズミカルな
洗浄水になります。



リモコン発信部

水勢表示ランプ

17

洗浄水の強さを表示します。

節電ボタン

18

8時間タイマーとセーブモードを設定します。

電池交換ランプ

24

電池交換ランプが点滅したら、
電池を交換してください。
点灯したら、使用できません。

ノズル清掃ボタン

23

ノズルを掃除するときに使います。

便座温度調節ボタン

18

暖房便座の温度を調節します。

便座温度表示ランプ

18

暖房便座の温度を表示します。

温水温度調節ボタン

17

洗浄水の温度を調節します。

温水温度表示ランプ

17

洗浄水の温度を表示します。

水勢調節ボタン

17

洗浄水の強さを調節します。

取り付け前の確認

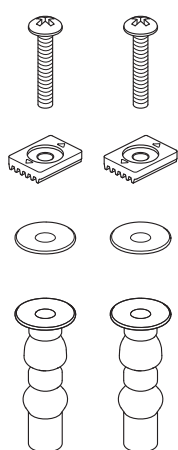
給水について

使用水は必ず水道水を使ってください

- ・ 使用可能な水圧範囲は 0.069~0.735MPa(0.7~7.5kgf/cm²)です。
- ・ 0.069MPa(0.7kgf/cm²)未満の水圧では、使用できない場合があります。

付属品

本体取り付け時に必要なもの

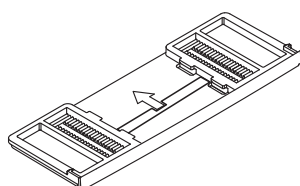


固定ボルト
： 2本

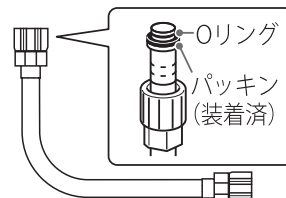
固定板
： 2個

スリップ
ワッシャー
： 2個

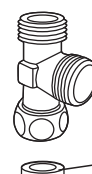
ゴムブッシュ
： 2本



固定プレート： 1枚
(便座本体に取り付けて
梱包しています。)



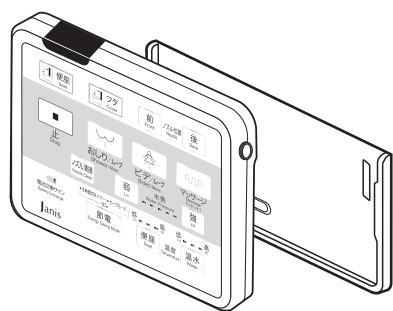
連結ホース
(約1m)： 1本



分岐金具： 1個

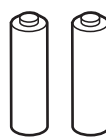
ゴムパッキン
(厚さ2mm)： 1個

リモコン取り付け時に必要なもの



リモコン本体

リモコンホルダー
(取り付け用両面
テープ装着)



単3形乾電池(動作確認用)

2本

* 乾電池は消耗品です。
消耗品は保証期間中でも
有料となります。

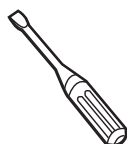


固定ねじ
3本

用意する工具



モンキースパナ



⊖ドライバー



⊕ドライバー

取り付けかた

⚠ 注意

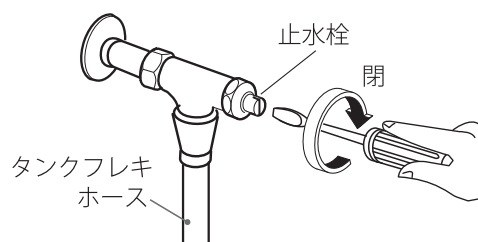
電源プラグは、設置工事が完了するまでは、コンセントに差し込まないでください。

- ・故障する恐れがあります。

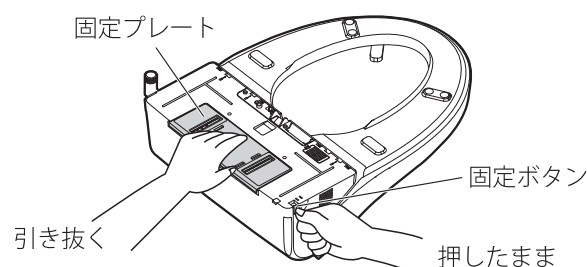
温水洗浄便座

1 止水栓を閉める

マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。

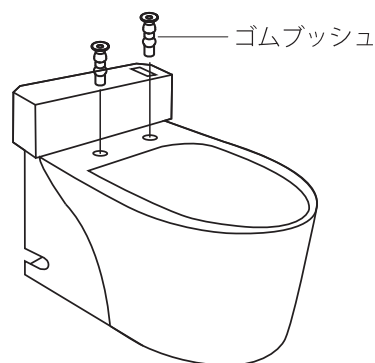


2 固定ボタンを押して 固定プレートを便座本体底部から 外す



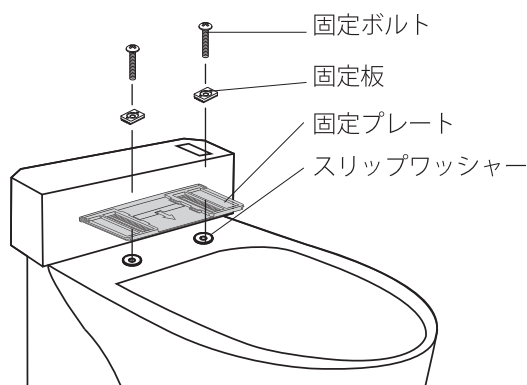
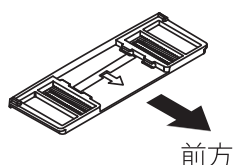
3 便器の取り付け穴に ゴムブッシュを差し込み、 スリップワッシャーを上に置く

- ・ゴムブッシュの表面を水でぬらしておく
と差し込みやすくなります。



4 便座取り付け穴の上に 固定プレート、 固定板を置く

- ・固定プレートの方向を確認する。

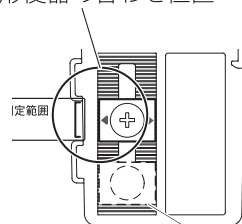


5 固定ボルトを固定板の中に 入り込むまで軽く締め込む

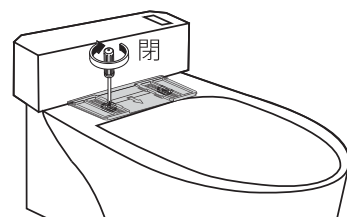
- 固定プレート貼り付けラベルの左右にあるマークの枠内に固定板を合わせはめ、固定ボルトで⊕ドライバーを使用し、固定プレートが動かなくなるまで締める。
- 固定板の位置は調節可能です。普通便器の場合は、固定板の位置を一番手前に合わせてください。

※インパクトドライバーは使用しないでください。

大形便器の合わせ位置

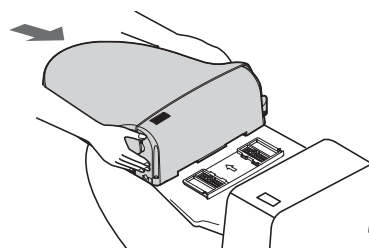


普通便器の合わせ位置

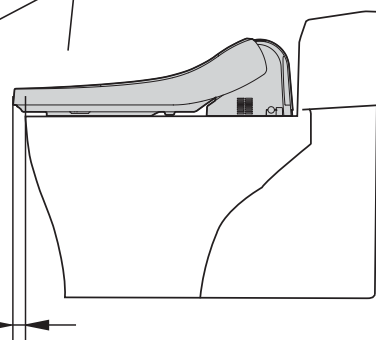


6 温水洗浄便座の位置を調節する

- 便器の中心と便座の中心を合わせ、便座の出を左右均等にする。
- 便座の先端が便器より5～10mm前になるように固定プレートの位置を調節する。

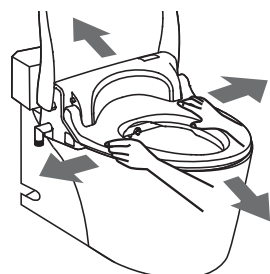


5～10mm程度便座の先端
を便器より前に出します。



7 温水洗浄便座を固定する

- 便座本体のくぼみと固定プレートの位置を合わせ、固定プレートの奥まで確実に押し込む。便座本体を手前に引き、固定されていることを確認してください。
- 取り付け後、便座に座って動かないことを確認する。



お願い

長年のお使いになると固定ボルトの締め付けが緩んでくる場合があります。その時は固定ボルトを締めなおしてください。

分岐金具の取り付け

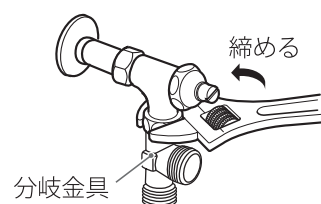
1 分岐金具を取り付ける

- ①付属のゴムパッキン(黒：厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付ける。
- ②分岐金具の袋ナットは、手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。
(締め付けトルクの目安：7.4N・m)
※止水栓に無理な力をかけないでください。
(破損して漏水する恐れがあります。)

ゴムパッキン

分岐金具

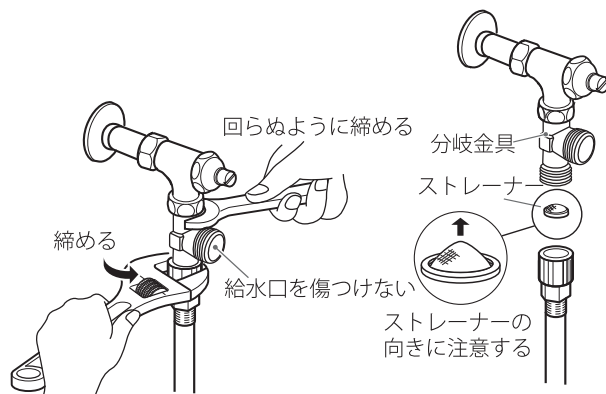
便座の連結ホースは必ず
こちらに接続ください。



分岐金具

2 タンクフレキホースを取り付ける。

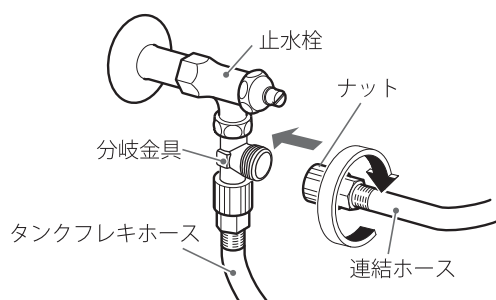
- ①ストレーナーを入れてタンクフレキホースを分岐金具に取り付ける。
- ②タンクフレキホースの袋ナットは、手でいっぱい締め付けてから工具で増締めする。分岐金具にスパナまたはモンキースパナを当てて、分岐金具を固定しながらタンクフレキホースの袋ナットを締め付ける。
※止水栓に無理な力をかけないでください。(破損して漏水する恐れがあります。)



連結ホースの取り付け

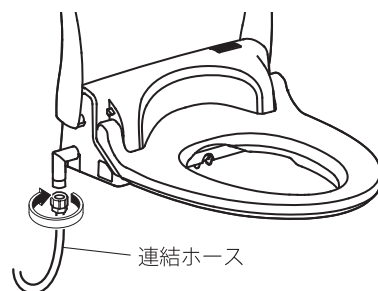
1 止水栓側に連結ホースを取り付ける

止水栓の分岐金具へ連結ホースのナットを手で回して取り付けてから、工具でナットを締め付ける。
(ナットの締め付けトルクの目安：7.4N・m)
(破損して漏水する恐れがあります。)



2 本体側に連結ホースを取り付ける

- ・連結ホースを給水アダプターに取り付ける。
- ・ストレーナーが落ちる場合がありますので注意してください。
- ・連結ホースが長い場合は、便座本体の脱着・移動可能な長さに連結ホースを調節し、ねじれを整え固定してください。
(ナットの締め付けトルクの目安7.4N・m)



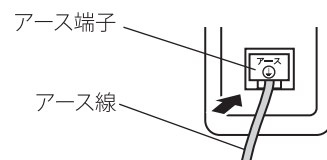
取り付けかた

アース線の取り付け

まだ電源プラグは差し込まないでください。
(電源プラグは水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。)

アース線を取り付ける

アース線を取り付けるときは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。
設置場所の変更や転居のときには、アースの取り付けをしてください。



警告

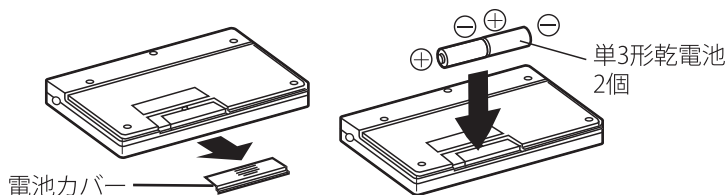
アース線を確実に取り付ける

- ・アース線を取り付けないと漏電時に感電の原因になります。
- ・次のようなところへのアース線接続は法令で禁止されています。: ガス管、電話線、避雷針、水栓など。
- ・アースの取り付け (D種接地工事) は、電気工事店または販売店にご相談ください。

リモコンの準備と取り付け

1 電池を入れる

- ① リモコン裏面にある電池カバーを開ける。
- ② 単3形乾電池2個を +、- を間違えないように入れる。
- ③ 電池カバーを閉じる。

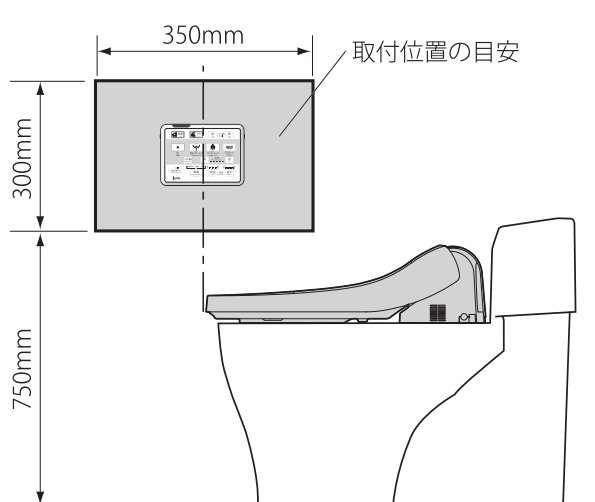


⚠ 注意

- ・新旧、異種の電池は混用しないでください。
 - ・付属の電池は動作確認用のため、電池寿命が短い場合があります。
 - ・長期間使用しないときは、電池を取り出してください。
 - ・電池寿命の目安は約1年です。
 - ・充電タイプの乾電池は使用できなかったり、電池の使用期間が短くなります。
- ※天井までの仕切り壁のない連なっているトイレで2台以上設置の場合、14ページの「連立トイレへの取り付け」を参考してください。

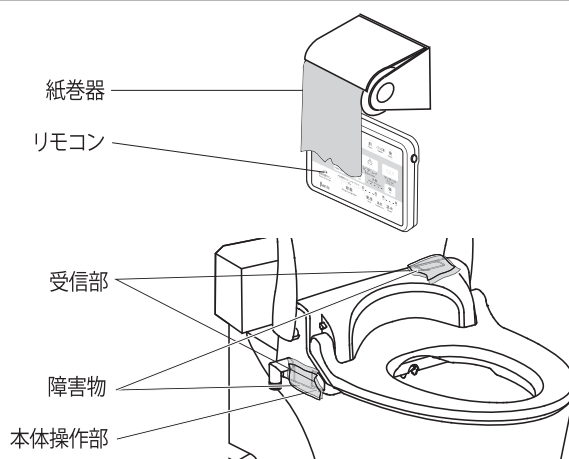
2 リモコンの取り付け位置を決める

- ① 便座に座った状態で、ボタンに手が届く範囲でおおよその取り付け位置を決める。
- ② その位置にリモコンを手で保持しながら、リモコンの温度調節ボタンを押して受信状態を確認する。
リモコンからの信号を便座本体が受信すると、「ピッ」または「ピッピッピッ」と音がすることを確認してください。
(いったん便座本体の電源プラグをコンセントに差し込み、確認後抜いてください。)



⚠ 注意

- ・リモコンの発信部にトイレトーパーまたは障害物があった場合、動作しない場合があります。
- ・本体側面の受信部に障害物があると動作しない場合があります。
- ・直射日光、インバーター蛍光灯の光が受信部に当たる場合は、リモコンからの信号を受け付けないことがあります。
- ・壁の色(黒っぽい色)や材質により、リモコンからの信号が受信部に届きにくい場合があります。

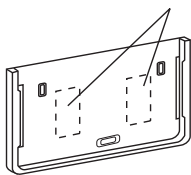


3 リモコンホルダーの取り付け

接着できる壁の場合

合板・タイルなど

両面テープ

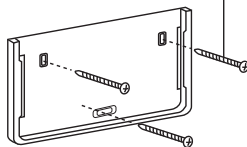


壁面の汚れをとり、付属の両面テープで貼り付ける。

ねじ止めできる壁の場合

合板・ビニールクロスなど

ねじ
(16mm)

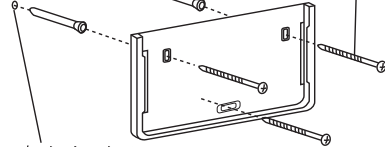


付属のねじ2本で壁に取り付ける。

付属品でねじ止めできない壁の場合

石膏ボード・コンクリートなど

プラスチックアンカー ねじ
(38mm)



下穴をあける
径 : 5.5mm
長さ: 40mm

プラスチックアンカー、ねじは同梱されていません。
市販のものを使用してください。

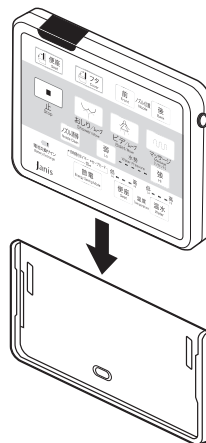
⚠ 注意

- ・ホルダーを固定する壁面が平面でないとリモコンががたつく恐れがありますので、取付面が平面になるように調整してください。

取り付けかた

4 リモコンの取り付け

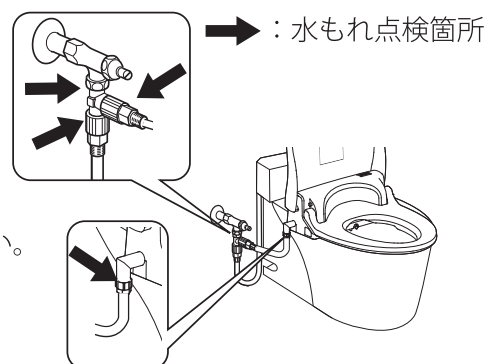
- ・取り付けたリモコンホルダーにリモコンを差し込む。



取り付け後の確認

水もれの点検

- ①給水の前に配管接続部の緩みがないか再確認する。
- ②止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
- ③本体給水接続部、水抜栓部より水漏れがないことを確認する。
※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



動作の確認

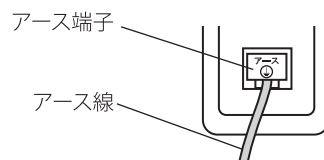
確認の前に梱包用ビニール袋を便器と便座の間に挟んで、ノズルから洗浄水の吹き出す様子が確認できるようにします。

電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は

約10秒間マイコンが初期設定を行いますので、ボタン操作を受け付けません。
初期設定終了後に動作の確認を行ってください。

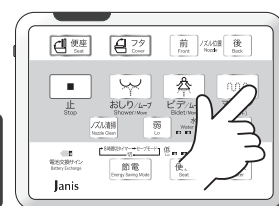
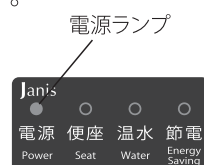
1 電源を入れる

- ①アース線が取り付けられているか確認する。
- ②電源プラグをコンセントに差し込む。
- ③本体表示部の「電源」ランプが点滅します。



2 リモコンの「マッサージ」ボタンを押す

- ・「電源」ランプが点灯になり、ブザー音が「ピー」と鳴ります。
- ・自動的に温水タンクへ給水を始めます。
給水中にブザー音が「ピッピッ・・・」と鳴り終了すると「ピー」と鳴ります。
※温水タンクが満水にならないと洗浄水は出ません。
- ・人体感知センサーが人体を感知したら便ふたが自動で開きます。
※電源プラグをコンセントに差し込んだ直後約1分間は、自動で便ふたは開きません。
1分経過後、人体感知エリア内で人を感知すると便ふたは自動で開きます。
※またはリモコンの「フタ」ボタンを押して便ふたを開けます。
- ・便座本体の「温水」と「便座」のボタンを押して、リモコンで温水温度と便座温度を設定してください。(15~18℃)



3 着座センサー位置を手で覆う

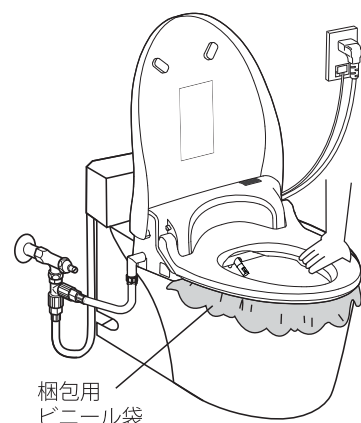
- ・着座を感知すると、便座本体の節電ランプが約5秒間点滅し、その後消灯します。
- ・脱臭を開始します。(脱臭ファン動作中)

4 「おしり」又は「ビデ」ボタンを押す

- ・自動でノズル洗浄をします。
- ・ノズルが伸びて、ノズルから洗浄水が出ることを確認します。
- ・各機能が正しく作動するかを確認します。(15~18℃)

5 「止」ボタンを押す

- ・洗浄水が止まり、ノズルが本体へ収納された後自動でノズル洗浄をします。
※洗浄停止中、ノズル付近から水滴が約3~5秒落ちることがあります。
これは温水タンクの水が沸きあがったときの膨張水またはノズル内の残水によるもので、故障ではありません。



⚠ 注意

- ・便ふたカバーを取り付けて使用すると故障します。
- ・暖房便座に便座カバーを取り付けて使用すると着座を感知できません。

連立トイレへの取り付け

リモコンの設定 設定は便座本体の近くでおこなってください。

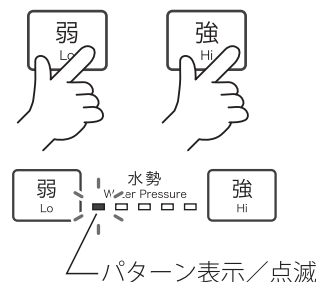
- ・隣接するトイレで本製品が2台以上使用された場合に誤動作の原因となりますので、必ず以下の手順に従ってパターンを変える設定をしてください。
- ・リモコンパターンを変えたい便座のみ電源を入れておいてください。

1 リモコンの 、 ボタンを同時に5秒間押す

リモコンパターンを表示する水勢ランプが点滅します。

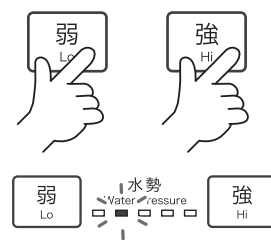
※このときの水勢ランプはリモコンパターンを意味し、5種類のパターン設定ができます。

※工場出荷時のリモコンパターンは1段ランプに設定されています。



2 リモコンの または ボタンを押し、パターンを設定する

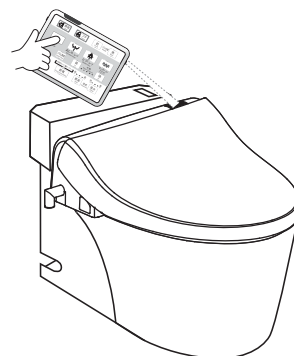
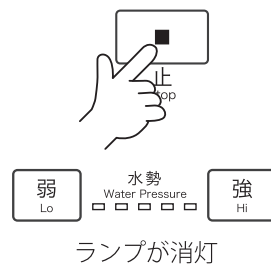
※ボタンを押すごとに1段ランプ～5段ランプまで5種類のパターン設定ができます。



ボタンを押すごとに点滅しながらランプが変化

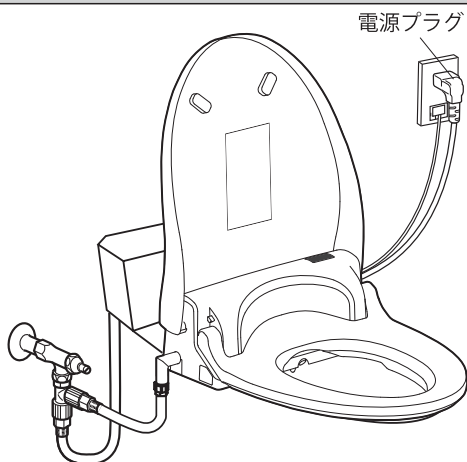
3 リモコンの ボタンを押し、設定を完了する。

- ・リモコンの発信部を便座の本体表示部に向けてリモコンの「止」ボタンを押してください。
- ・リモコンの水勢ランプは消灯し、便座本体から「ピピ」と鳴ります。



使いかた

ご使用になる前に

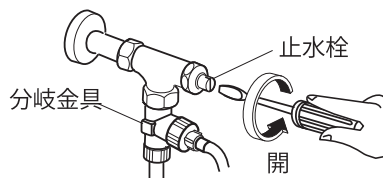


●確認してください。

電源プラグをコンセントに差し込むと「電源」ランプが点滅します。リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して、点灯にします。(13)

●止水栓の確認

設置後、止水栓は開いていますか。閉じている場合は、止水栓を開いてください。

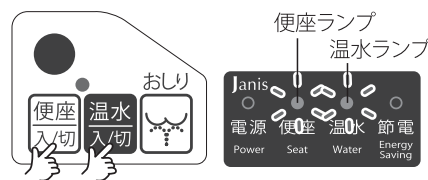


●リモコンの確認

乾電池が正しく入っているか確認してください。

リモコンで温度設定する前に

- ・温水・便座の温度を設定するときは、便座本体の **温水入/切** ボタン、**便座入/切** ボタンを「入」にして温水・便座のランプを点灯させてください。
- ・温水・便座ランプが消灯しているときにリモコンの **温水 Water**、**便座 Seat** ボタンを押しても設定できません。



リモコン操作について

- ※リモコンは手に持って操作することもできます。
- ※リモコンからの信号を本体が受信すると、便座本体から音が鳴ります。
 - 「ピッ」：機能設定や温度・強さ調整のとき
 - 「ピー」：強さ調整限界のときや機能解除のとき
 - 「ピッピッピッ」：操作不可のとき

⚠ 注意

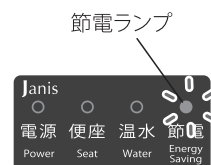
- ・便ふたにカバーを付けると、開閉動作に支障がでる場合があります。その場合はカバーをはずしてください。
- ・人体感知センサーは人の動きを感知して動作します。人が感知エリア内にも動きがないと感知ができません。

1 便座に近づく

- 人が便座に近づくとき便ふたは自動で開きます。(24)
 - ・人体感知エリア内に人が入ると便ふたは自動で開きます。
 - ・人が便座から離れると便ふたは約3分後に自動で閉じます。
- ※人体感知エリア内で人が動いている間は、便ふたは開き続けます。

2 便座に座る

- 暖房便座の中央に座ります。
 - ・着座すると便座本体の節電ランプが5秒間点滅したあと、消灯します。また、節電を設定している場合は5秒間点滅したあと、点灯します。
 - ・脱臭を開始します。



3

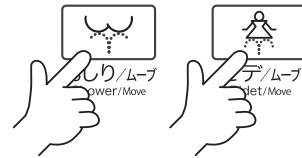


または



ボタンを押す

- おしり洗浄またはビデ洗浄を行います。
- ムーブ機能については17ページ/ムーブ洗浄を参照ください。



⚠ 注意

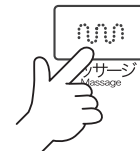
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けている方は、使用について医師の指示に従ってください。

4



ボタンを押す

- 水勢の強弱+ノズルの前後移動のリズミカルなシャワーで洗浄します。
- もう一度押すとマッサージなしの洗浄に戻ります。
- ※おしり洗浄またはビデ洗浄中に操作できる機能です。

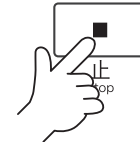


5



ボタンを押す

- 洗浄を停止します。



⚠ 注意

- 洗浄停止後、ノズル付近から水滴が約3～5秒落ちることがあります。これは、ノズル自動洗浄によるもので、故障ではありません。

6

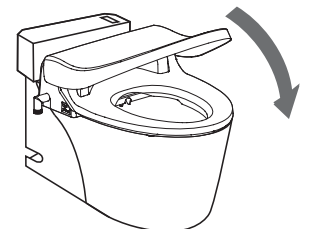
便座から立ち上がる

- 約1分後に脱臭が停止します。
- また、便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭が停止します。

7

便座から離れる

- 人が便座から離れると便ふたは約3分後に自動で閉じます。
- リモコンのボタンを押して便ふたを閉じることできます。
- 便ふたが閉じると、約15秒間は、人が便座の近くにいても自動で開きません。
- ※便ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。
- 破損の原因になるため、便ふた・便座に無理な力を加えないでください。

使
い
か
た

※男性の小便のときは

- ①便ふたが開いた状態で、便座を開く。
 - ・リモコンの「便座」ボタンまたは手で便座を開きます。
- ②小便をする
- ③便座から離れる
 - ・人が便座から離れると便座・便ふたは約3分後に自動で閉じます。
 - ・リモコンの「フタ」ボタンのみを押しても便座・便ふたが閉じます。

ノズル位置の調節

前
Front

後
Back

を押す

- おしり洗浄、ビデ洗浄中に行います。
- ノズル位置は中間位置で始まります。
- 中間位置で、前方に2段階、後方に2段階調節できます。
- ボタンを押すごとに1段階ずつ調節できます。(ボタンを押すごとに便座本体から「ピッ」と音が鳴り、最終位置のときは「ピー」と鳴ります。)
- ノズル位置の設定は着座している間は記憶していますが、便座から立ち上がった場合は中間位置に戻ります。再び着座したときには設定しなおしてください。

水勢の調節

弱
Lo

強
Hi

を押す

- 水勢は3段階で始まります。



- 5段階で調節できます。
- 好みの強さをボタンを押して調節してください。(ボタンを押すごとに便座本体から「ピッ」と鳴り、最終の強さのときは「ピー」と鳴ります。)
- 水勢の強さ設定は記憶しないため、再び使用する時には設定しなおしてください。
- 水勢表示ランプは点灯後、約20秒経過すると消灯します。

ムーブ洗浄

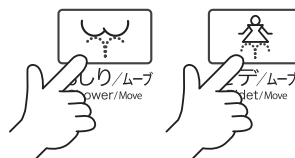
おしり/ムーブ
Shower/Move

または

ビデ/ムーブ
Bidet/Move

ボタンを押す

- おしり洗浄、ビデ洗浄中に行います。
- ノズルが前後に伸縮し、広い範囲を洗浄できます。
- もう一度「おしり/ムーブ」ボタンか「ビデ/ムーブ」ボタンを押すとムーブ洗浄が終了し、通常の洗浄に戻ります。



⚠ 注意

ムーブ洗浄中で、水勢及びノズル位置などの調節はできません。

着座センサーについて

- 本製品は着座センサーがついています。着座すると便座本体の節電ランプが5秒間点滅したあと、消灯します。また、8時間切タイマー・セーブモードを設定している場合は5秒間点灯したあと、設定の表示ランプに切り替わります。
- 便座使用中に立ち上がったたり体を浮かせたときは、着座センサーが[切]になり、洗浄が止まります。※便座本体のお手入れ時に着座を感知する場合がありますので、お手入れ時は必ず電源プラグをコンセントから外して行ってください。

温水温度の調節

温水
Water

ボタンを押す

- 現在の温水温度の設定状態を表示します。
- ボタンを押すごとに一段階ずつ調節できます。3段階の調節ができます。
- 温水温度を切(水道水の温度)にすると、ボタンを押してランプを消灯の状態にしてください。
- 温水温度表示ランプは点灯後、約10秒経過すると消灯します。



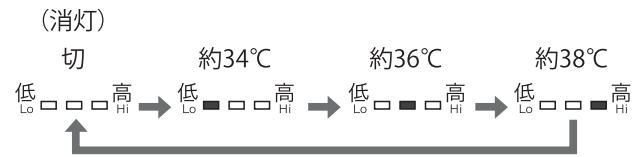
- 季節や洗浄水の水勢にもよりますが、温水温度設定の1分後には設定した温度で使用できます。
- 冬場では温水温度の維持時間が短くなるため、必要に応じて水勢を弱めて使用してください。

便座温度の調節

便座
Seat

ボタンを押す

- 現在の便座温度の設定状態を表示します。
- ボタンを押すごとに一段階ずつ調節できます。
3段階の調節ができます。
- 便座温度を切(暖房しない)にするときは、ボタンを押してランプを消灯の状態にしてください。
- 便座温度表示ランプは点灯後、約10秒経過すると消灯します。



- 季節や室温にもよりますが、便座温度設定の5分後には設定した温度になります。

途中で停電になったら

- ・電源ランプが点滅します。
停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、温水温度・便座温度は「切」になりますので、マッサージ(リセット)ボタンをおして点滅を点灯にし、便座本体の温水・便座ボタンを押してからリモコンで温水温度と便座温度の設定をしておいてください。

節電の設定

節電
Energy Saving Mode

ボタンを押す

- 「節電」ボタンを押すごとに設定が右図のように変化します。
- 8時間切タイマー
 - ・8時間切タイマーに設定すると、設定したときから8時間、温水・暖房便座への通電を停止します。
温水温度、便座温度表示ランプは点灯したままです。
 - ・おでかけやお休みのときなど、長時間使用しない場合にお使いください。
- セーブモード
 - ・セーブモードに設定すると、暖房便座の温度が34℃で保持されます。
- 途中で解除したいとき
 - ・「節電」ボタンを押して、表示ランプを消灯にしてください。

○ランプ消灯
(解除)

●ランプ点灯
(8時間切タイマー)

●ランプ5秒間隔点滅
(セーブモード)



⚠ 注意

- ・節電設定中に着座を感知すると、節電中でも設定温度まで温度を上げます。(設定温度になるまで、便座は約5分、温水は約1分かかります。)
使用後は節電モードに戻ります。

使
い
か
た

その他の節電のしかた

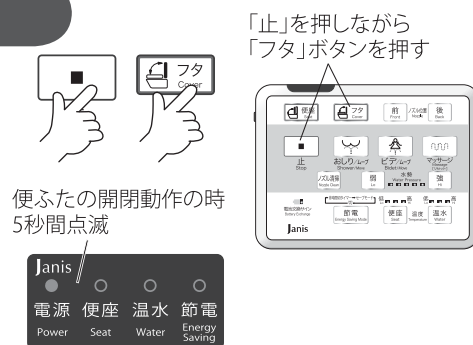
- 便ふたを閉じる
使用後に便ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができ、節電になります。
- 温度設定を低めに
季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。

途中で停電になったら

- ・停電が1秒以上続いたときや、電源プラグをコンセントから抜いた時は、8時間切タイマーの設定は解除されます。

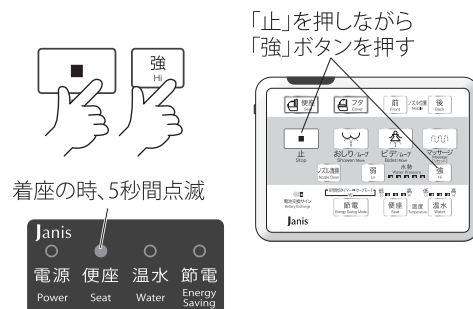
便ふたの自動開閉を使用しないとき

- ・リモコンの「止」を押しながら「フタ」ボタンを押すとブザー音が「ピー」と鳴り、自動開閉機能が停止します。自動開閉機能が停止中は、リモコンの「フタ」ボタンが押されると電源ランプが5秒間点滅します。
- ・再び、使用する場合リモコンの「止」を押しながら「フタ」ボタンを押すとブザー音が「ピピッ」と鳴り、自動開閉機能を再開します。



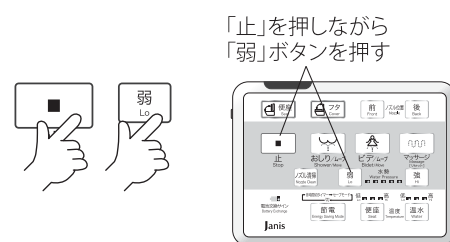
脱臭機能を使用しないとき

- ・リモコンの「止」を押しながら「強」ボタンを押すとブザー音が「ピー」と鳴り脱臭機能が停止します。脱臭機能が停止すると着座時に便座本体の「便座」ランプが5秒間点滅します。
- ・再び、使用する場合リモコンの「止」を押しながら「強」ボタンを押すとブザー音が「ピピッ」と鳴り、脱臭機能を再開します。



操作音を消したいとき

- ・リモコンの「止」を押しながら「弱」ボタンを押すとブザー音が「ピー」と鳴り操作音を停止します。
- ・再び、操作音を鳴らす場合リモコンの「止」を押しながら「弱」ボタンを押すとブザー音が「ピピッ」と鳴り、操作音が鳴るようになります。



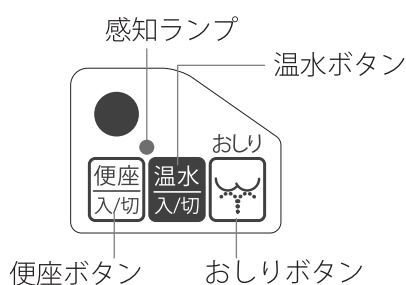
知っておいていただきたいこと

切り忘れ防止タイマー	「止」操作をしない場合には、洗浄は自動的に約2分間で止り、ブザー音が「ピー」と鳴ります。暖房便座から立ち上がったときも自動的に止まります。
脱臭機能	便座に座ると脱臭を開始します。(動作音がします。) 便座から立ち上がって約1分後に脱臭は止まります。 便座に座り続けた場合は、約30分後に脱臭は止まります。
使用中の音	使用中に[シュー]という音がすることがありますが、これは便座本体内の温水タンクで温水が沸きあがる音で異常ではありません。
マイコンの初期設定	停電から復帰したときや電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行います。その間はボタン操作を受け付けません。 リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して電源ランプを点滅から点灯にしてください。ブザー音が「ピー」と鳴ります。
冬季など水温が低いとき	洗浄中に温水温度が低くなることがあります。約5分間洗浄をとめて、温水温度が上昇してから使用してください。
リモコン受信について	黒っぽいトイレ内装の場合は、リモコン信号(赤外線)が吸収されて正常に動作しないときがあります。リモコン発信部の延長線上に白っぽいスクリーンを貼るなどして使用してください。

知っておいていただきたいこと

低温やけど防止	長時間便座に座り続けると、低温やけどになる場合があります。便座に座ってから、約1時間後で自動的に便座ヒーターの通電が停止し、「便座」、「温水」、「節電」ランプが点滅します。立ち上がると自動的に復帰します。
セルフクリーニング	おしりまたはビデ洗浄を使うとき、ノズルが出る前とノズルが本体へ収納された後自動でノズル洗浄をします。
水道圧が低いとき	- 水道圧0.069MPa(0.7kgf/cm²)より低いとき、水勢を「強」に設定しても、十分な水勢が得られないことがあります。 - 通常十分な水勢が得られても他の蛇口で水を使ったり、水道圧が0.069MPa(0.7kgf/cm²)より低くなると、十分な水勢が得られないことがあります。
停電になったとき	- 停電になると、表示ランプは全て消えます。 - 停電が回復すると、電源ランプが点滅しますので設定しなおしてください。 - リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して電源ランプを点灯にしてください。ブザー音が「ピー」と鳴ります。 - 本体の温水・便座ボタンを押し、リモコンで温度設定をしてください。
便座・便ふたのリモコン開閉機能	- 便座、便ふたはリモコン操作により電動式で開閉する機構となっています。 ※便座、便ふたを開閉する際に、無理な力が加えると故障の原因となります。 ※便座と便ふたにカバーを付けると、開閉動作に支障がでる場合があります。その場合はカバーをはずしてください。
便ふたの自動開閉機能	- 自動便ふた開閉は本体にある人体感知センサーの感知エリア内に人が入ったときに動きます。 - 人が便座から離れると便ふたは約3分後に自動で閉じます。 ※便ふたにカバーを付けると、開閉動作に支障がでる場合があります。この場合はカバーをはずしてください。

本体操作部の使いかた



- 感知ランプ：人体を感知すると1秒間点灯します。
リモコンからの信号を受けたとき、1回点滅します。
また、操作音を消音に設定したときは2回点滅します。
- 温水ボタン：温水電源の切/入の設定をします。
- 便座ボタン：便座電源の切/入の設定をします。



ボタンを押す

- おしり洗浄をします。水勢は3段目で動作し、水勢の調節はできません。
もう一度押すとおしり洗浄が止まります。

- 便座本体のおしりボタンはリモコンでの操作ができない場合にお使いください。

お手入れのしかた

警告

お手入れのときには安全のため通電を止めた状態にしてください。
※「ノズル清掃」機能を使用の場合を除きます。



警告

お手入れが終了したら、電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差込んでください。

注意

汚れはやわらかい布、またはうすめた台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。

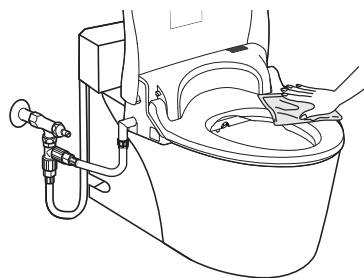
- ・シンナー・ベンジン・トイレ用洗剤・住宅用洗剤・薬品で拭いたり、殺虫剤・芳香剤・消臭剤をかけたりしないでください。
- ・クレンザーや磨き粉が入っている洗剤やたわしは使用しないでください。
変色・変形・キズの原因となります。
- ・便器を洗うときのトイレ用洗剤は、便座本体に付かないようにしてください。
また便器についたトイレ用洗剤は確実にふき取ってください。
- ・酸性やアルカリ性の洗剤は使用しないでください。
気化ガスが便座本体内に入り、腐食・故障の原因となります。
- ・乾いた紙でこすらないでください。キズの原因となります。

便器内を洗剤でお手入れするときは。。。

- ・便器内の清掃にトイレ用洗剤および消毒剤などを使用するときは、早め(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたはあけたままにしておいてください。また便器についた洗剤は確実にふき取ってください。
(便器用洗剤などの気化ガスが便座本体内に入り、故障の原因になります。)

日常のお手入れ

- ①電源プラグをコンセントから抜く。
- ②水でぬらした柔らかい布よくしぼってからふく。
- ③汚れがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ぶきする。
- ④お手入れが終わったら、電源プラグを差し込む。

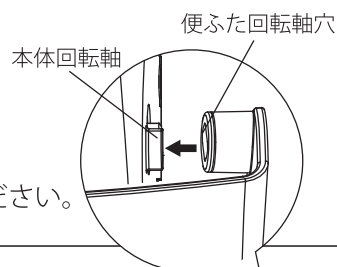


念入りなお手入れ

便ふたのはずしかた、取り付けかた

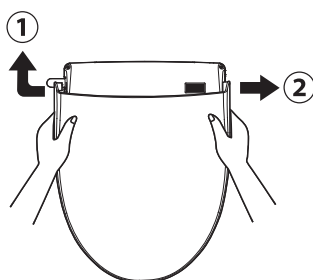
- 便ふたを取りはずして、すみずみまでお手入れできます。

便ふたを閉めた状態で取り外し、取り付けも便ふたを閉めた状態で行ってください。



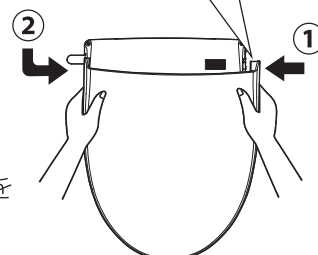
はずしかた

- ①便ふたを閉めた状態で、左側を広げるようにして持ち上げて回転軸からはずす。
- ②便ふたを右側に移動させながら本体からはずす。



取り付けかた

- ①便ふたを閉めた状態で、右側のふた側回転軸穴を本体側回転軸にはめる。
- ②便ふたの左側を広げながら、ふた側回転軸穴を本体側回転軸にはめる。



本体のはずしかた，取り付けかた

●本体を取りはずして、裏側や便器の上面をお手入れできます。

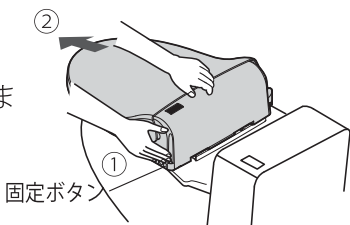


警告

・便座本体に水をかけないでください。

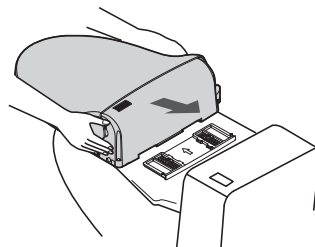
はずしかた

- ①便座本体右下奥にある固定ボタンを押したまま
- ②便座本体を手前に引き、便座本体を取りはずす。



取り付けかた

便座本体のくぼみと固定プレートの位置を合わせる。固定プレートの奥まで確実に押し込む。
(手前に引き、固定されたか確認してください。)



ストレーナーのお手入れ

・ストレーナーがゴミなどで詰まると温水洗浄水の水勢が弱くなりますので、お手入れしてください。

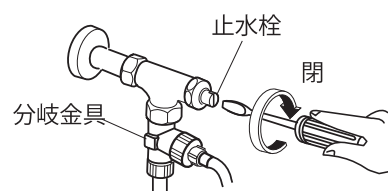
1 止水栓を閉める

・マイナスドライバーで右方向にまわします。

2 ストレーナーを掃除する。

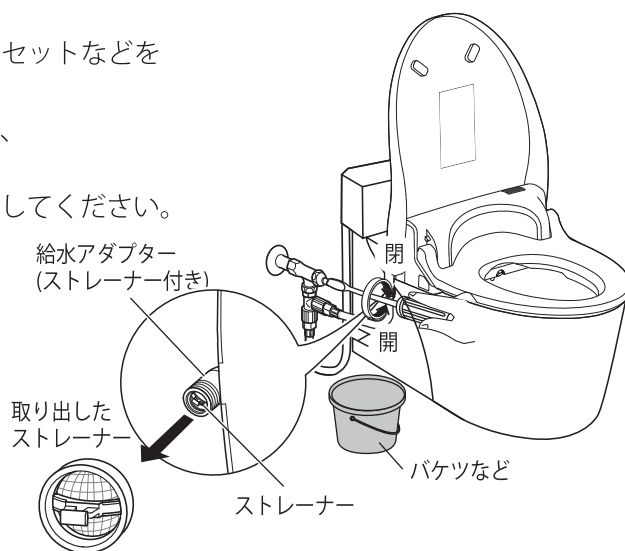
(給水アダプターの下にバケツなどを置きます。)

- ① 連結ホースを給水アダプターから外す。
- ② 給水アダプター内にあるストレーナーをピンセットなどを使って取り出し掃除します。
水洗いしながら歯ブラシなどを使って掃除し、元の位置に止まるまで押し込みもどします。
※元にもどすとき逆に取り付けないように注意してください。
- ③ 連結ホースを取り付ける。



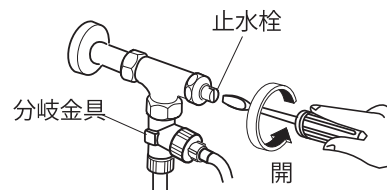
3 止水栓を開ける

・マイナスドライバーで左方向に回します。



4 水漏れの確認

- ・給水アダプターから水漏れのないことを確認する。
※万一水漏れがある場合は連結ホースの取り付けを再度行ってください。



お手入れ・こんなときは

ノズルのお手入れ

- ・ノズルが汚れると、洗浄水が横に飛び散ったりしますので、必ずお手入れしてください。

1. ボタンを押してノズルを出す

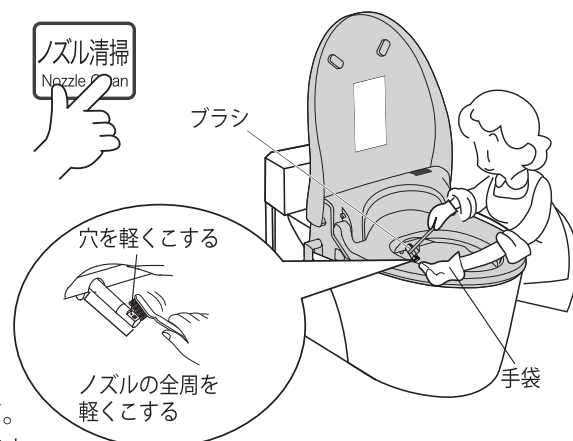
- ・着座しないでリモコンの「ノズル清掃」ボタンを押すとブザー音が「ピッ」と鳴り、前洗浄後、ノズルが前進します。
※着座を感知すると(便座本体の節電ランプが5秒間点滅したあと消灯します。)ノズルはでません。
その場合は、便座本体から一度離れ、再度ボタンを押してノズルを出してください。

2. 汚れを落とす。

- ・手袋をして作業をしてください。
ブラシでノズル本体・ノズル先端の全周、およびノズル先端の穴を軽くこすって汚れを落とします。
※ノズルは約3分で戻ります。(戻るとき、ブザー音が「ピー」と鳴ります。)洗浄を続けたいときは再び「ノズル清掃」ボタンを押してください。

・ノズル先端のお手入れ

- ①ノズル本体を持って、ノズル先端をひねらないようにまっすぐ引き抜いて水洗いをします。
※ノズル先端を便器内に落とさないよう注意してください。
- ②ノズル本体を持って、ノズル先端をノズル本体にまっすぐ差し込んで取り付けます。
※ノズル先端を差し込むときノズル本体を奥へ押し込まないでください。

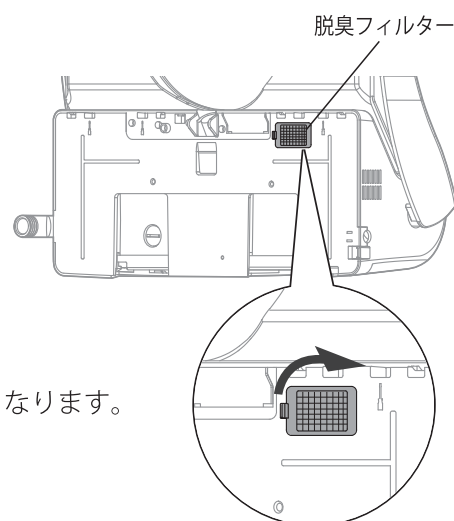


3. 又は ボタンでノズルを戻す

- ・洗浄が終わったら「止」又は「ノズル清掃」ボタンを押してノズルを戻してください。

脱臭フィルターのお手入れ

1. 止水栓を閉める。
※マイナスドライバで右方向に回します。
2. 電源プラグをコンセントから抜く。
3. 便器から便座を外す。
4. 脱臭フィルターを取り出す。
・脱臭フィルターをつまみを持って本体より取り外す。
5. 脱臭フィルターを掃除する。
・網部のほこりを歯ブラシなどで取り除いてください。
(1ヶ月に1回程度)
※脱臭フィルターにほこりがつきますとファンの音が大きくなります。
※水洗いをした場合は、よく乾かしてください。
6. 脱臭フィルターを取り付ける。
・脱臭フィルターを本体に取り付ける。
7. 便座を便器に取り付ける。
8. 電源プラグをコンセントに差し込む。
※便座本体表示部の電源ランプの点滅を確認してください。
9. 止水栓を開く。
10. 温水、便座の設定を行ってください。
※設定の仕方は“使いかた”を参考にしてください。(15~18)



便座本体内部の水抜き

- 便座本体内部の水抜きをして沈殿物を排出してください。
ノズルの穴が詰まる原因となります。(3ヶ月に1回程度)
※水抜きの方法を参考にしてください。(25)

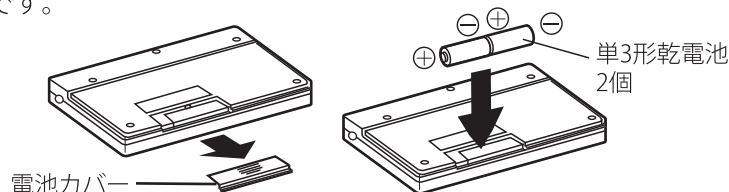
リモコンの電池交換

- 電池交換ランプが点滅しましたら早めに電池交換してください。
リモコンの設置場所によって電池交換ランプが点滅する前に使用できなくなる場合があります。
通常は消灯していますが、点灯状態になると使用できません。

①リモコンを持ち上げて、リモコンホルダーから外す。

②電池カバーを外し、新しい乾電池に取り替える。

電池寿命の目安は約1年です。(付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短い場合があります。)
※乾電池は消耗品です。



③電池カバーを元の状態にはめ、リモコンをホルダーにさし込む。

⚠ 注意

- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示に従って正しく入れてください。
- 新旧、異種の電池は混用しないでください。
- 充電タイプ乾電池は使用できなかったり、電池の使用期間が短くなります。

便ふたの開閉について

自動開閉機能ONの場合

●電源プラグをコンセントに接続する

接続直後約1分間は、自動で便ふたは開きません。
1分経過後、人体感知エリア内に人が入ったり、動いたりすると便ふたは自動で開きます。

●便座に近づく・離れる/便座の前で動く

人体感知エリア内で人が動いていると便座が感知して便ふたは自動で開きます。
人体感知エリア内で人が動いている間は、便ふたは開き続けます。

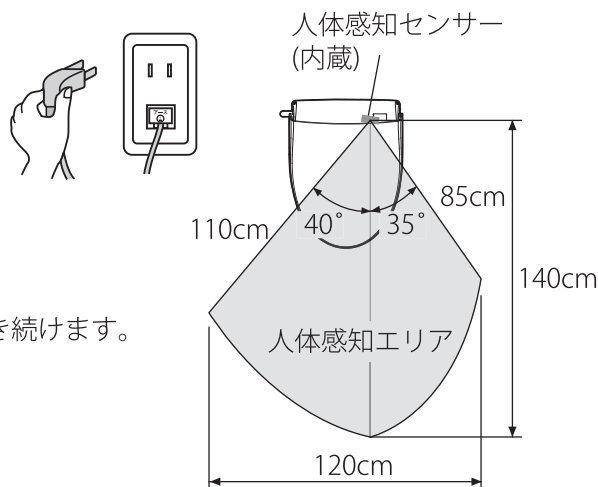
●便座に座る

便座に座っている間、便ふたは開き続けます。

●便ふた・便座を開けた状態で、便座から離れる

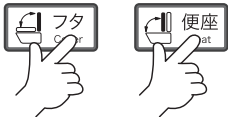
人体感知エリア内にいる人が外に出て、約3分経過すると自動で便ふたが閉じます。

※便ふた・便座の操作は、リモコンの「便座」・「フタ」ボタンを押して開閉操作を行って下さい。
※便ふたが閉まった直後から約15秒間は、人を感知しても自動で開きません。



自動開閉機能OFFの場合

- 便ふた・便座は、リモコンの「便座」・「フタ」ボタンを押して開閉操作を行って下さい。
- 便ふたは自動で開いたり閉じたりしません。
リモコンの「便座」・「フタ」ボタンを押して操作してください。



便座に座った時のみ
座ってから離れると
自動で便ふたが
閉じます。

異常報知について

表示ランプ ●：点灯 ☀：0.5秒間隔で点滅 ☀☀：0.2秒間隔で点滅
※アラーム音は便座本体内の重大な異常時に鳴ります。

表示ランプ及びアラーム音				考えられる原因と処置のしかた	
● ○ ☀ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving				ご使用をやめて電源プラグを抜いて、点検・修理をご依頼ください。	
☀ ○ ☀ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving					
○ ○ ☀ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving			「ピピピ」		
● ○ ☀ ☀ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving			「ピピピ」		
● ○ ☀ ☀☀ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving			「ピピピ」		
● ☀ ○ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving					
☀ ☀ ○ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving					
○ ○ ○ ☀ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving					
☀ ○ ○ ☀ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving					
○ ○ ○ ○ 電源 便座 温水 節電 Power Seat Water Energy Saving			「ピピ・・・」 0.5秒周期	・電源入力異常	

凍結防止について

本製品は寒冷地仕様ではありません。室温が0℃以下になると凍結のおそれがあります。器具の凍結破損を防ぐため、次のように凍結防止をしてください。

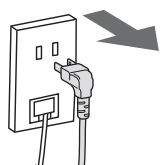
凍結の恐れがある場合

- ・他の器具でトイレ内を暖房してください。※暖房器具の注意書きに従って使用してください。暖房器具の熱源を近づけると便座本体が変形するおそれがありますので、注意してください。
- ・「8時間切タイマー」と「セーブモード」を使用しないでください。
- ・配管部は、市販の凍結防止用テープヒーターを取り付けてください。
- ・トイレ内を暖房できない場合は、下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きの方法

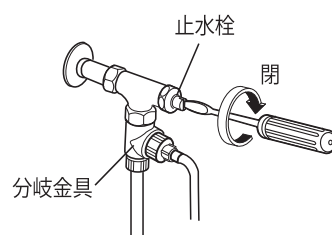
- ・寒冷地でトイレの室温が0℃以下になる恐れのある場合や、長時間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜いて便座本体内部の水抜きをしてください。
- ・バケツなど(2L程度)を準備してください。

1 電源プラグを抜く



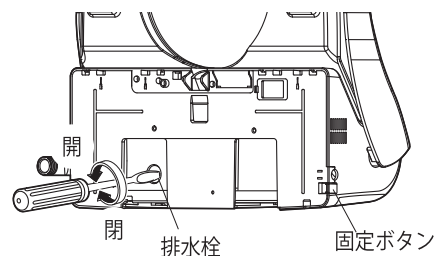
2 止水栓を閉める

マイナスドライバーで右方向に回します。



3 連結ホース内部の水抜きをする

- ① 連結ホースを分岐金具から取り外し、水抜きをします。
- ② 水抜きをした後、連結ホースを分岐金具に取り付けします。



4 便座本体内部(温水タンク)の水抜きをする

- ① 便座本体右下奥にある固定ボタンを押したまま便座本体を手前に引き、便座本体を取り外す。
(連結ホースに力を加えないでください。)
- ② 便座本体裏面の排水栓を マイナスドライバーなどを使用して左方向に回してゆるめ引き出す。
- ③ 水抜き後、排水栓を押し込んで右方向に回して締め付ける。
- ④ 便座本体を便器に取り付ける。
※バケツなどを置くスペースがない場合は、便座本体を取り外し、便器からずらして便器内に、水抜きをしてください。

万一凍結してしまったときは、便座本体内部や配管の自然解氷を待ってから使用してください。

水抜き後の再通水の方法

1 止水栓を開ける

マイナスドライバーで左方向に回します。
排水栓から水が漏れていないか確認してください。

2 電源プラグをコンセントに差し込む

便座本体表示部の電源ランプの点滅を確認してください。

3 「マッサージ」ボタンを押す

- ・「電源」ランプを点灯になり、ブザー音が「ピー」と鳴ります。
(電源プラグをコンセントに差し込んだ直後は、約10秒間初期設定を行います。)
- ・自動的に温水タンクへ給水を始めます。
(給水中は[ピッピッピッ。。。]とブザー音が鳴ります。)

4 温度設定をする

便座本体の温水・便座ボタンを押して、リモコンで温水温度、便座温度の設定をしてください。

安全・安心にお使いいただくために

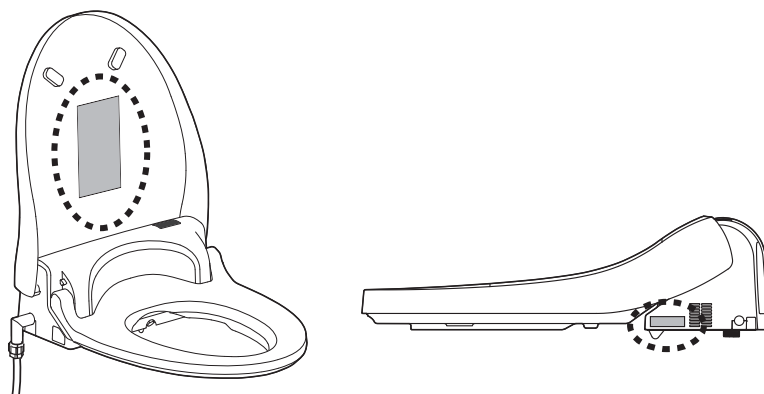
製品の長期使用に関する本体表示について

■本体への表示内容

- 製造年（本体に西暦4桁で表示しています。）
- 注意表記（下記の表記を便ふたの警告表示ラベルに表示しています。）



【想定安全使用期間】10年（一般家庭用に設置された場合）
想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による
発火・けが等の事故に至るおそれがあります。



■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。

無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外（事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所）に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

■標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V、50/60Hz	機器の定格電圧/周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422 による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による 標準設置状態	JIS A 4422 による
想定条件	4人家族（男性2人、女性2人）において、 大便：1回/日・人、小便男性：4回/日・人、 小便女性：4回/日・人の使用回数で、 一回ごとの洗浄便座機能の使用時間を それぞれ15秒間とする		JIS A 4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

無線式の人体感知センサーについて

■機器認定

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力の無線設備として認証を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機内蔵の無線装置を分解/改造する。
- ・本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす。

■電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器から出来るだけ離してください。

- ・電子レンジ
- ・無線LAN機器
- ・Bluetooth® 対応機器
- ・その他10.525GHzの電波を使用する機器の近く
- ・埋め込み除細動器（心臓ペースメーカー）を装着されている方は、埋込部位の20cm以内に人体感知センサーを近づけないでください。

■使用制限

日本国内でのみ使用できます。

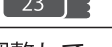
■無線方式の人体検知センサーの使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、10.525GHz等で使用されているの特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から他の小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売店または当社にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
- ・その他、この機器から特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、販売店または当社にお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを調べてください。

症状	確認するところ	処置
電源ランプが点灯しない	- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 - 電源コンセントに電気がきていますか。 - 漏電していませんか。 - AC100V以外の電圧が掛かっていませんか。	- 電源プラグをコンセントの奥まで差し込む。 - 停電、ブレーカなど確認して下さい。 - 電源プラグをコンセントから抜き修理を依頼して下さい。 - 電源プラグをコンセントから抜き修理を依頼して下さい。
電源ランプが点滅している	- 停電になったことはありませんか。 - 電源プラグを抜いたことはありませんか。	リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して「点灯」にしたあと、温度設定など再設定する。
リモコンのボタンを押しても動作しない	- 電池交換サインランプが点灯していませんか。 - リモコンの電池が消耗していませんか。 - リモコン内の電池の＋の方向が間違っていないですか。 - リモコンの発信部、便座本体の受信部に障害物はありませんか。 - リモコンの送信部、または受信部が汚れているか、水が付いていませんか。 - 本体のリモコン受信部がリモコン信号を受けにくい位置ではありませんか。 - インバーター照明を使用していませんか。 - リモコンの受信部に太陽光が当たっていませんか。	- 新しい電池に交換して下さい。 - 新しい電池に交換して下さい。 - 正しい方向に入れて下さい。 - 障害物を取り除く。 - 汚れや水を取り除いて下さい。 - リモコンの位置を変更する。 - 照明を消して動作を確認して下さい。 正常動作した場合は、商品の異常ではありません。 - 太陽光が直接当たらないようにして下さい。
洗浄水が出ない	- 水道が断水していませんか。 - 止水栓が閉じていませんか。 - 着座センサーが正しく動作していますか。 - 便座カバーを付けて使用していませんか。 - ノズルが詰まっていますか。	- 通水されるまで待つ。 - 止水栓を開けて下さい。 - 便座の中央に座る。 - 便座カバーを外して下さい。 - ノズルをお手入れする。
洗浄水が温かくない	- 温水温度が適切な温度に調整されていますか。 - 停電になったことはありませんか。 - 電源プラグを抜いたことはありませんか。 - 電源ランプが「点滅」していませんか。 - 本体の温水ランプが点灯していますか。	「温水」ボタンを押し、適切な温度に調整して下さい。 - リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して「点灯」にしたあと、温度設定など再設定する。 - 本体の温水ボタンを押して下さい。
以前使用していた機種よりも動作が遅い・早い	他機種からの買い換えの場合、以前の製品と構造が異なる為、交換前のものと比べて動きが遅くなる場合や早くなる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。	
洗浄水がうまく当たらない。	他機種からの買い換えの場合、以前の製品と構造が異なる為、交換前のものと比べて洗浄水の当たる位置が異なる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。	

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

症状	確認するところ	処置
以前使用していた機種より洗浄水が弱いまたは強い	他機種からの買い換えの場合、以前の製品と構造が異なる為、交換前のものと比べて洗浄水の弱く感じる場合や強く感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。	
洗浄水が弱い	- 水圧が普段より低くなっていますか。 [0.069MPa(0.7kgf/cm²)未満] - 止水栓が十分に開いていますか。 - 便座本体のストレーナーが詰まっていますか。 - 洗浄水の水勢が弱になっていませんか。	- 他の水道の同時使用をなるべくさける。 - 止水栓を十分に開ける。  15 - ストレーナーを掃除する。  22 - 水勢の「強」ボタンを押して適切な強さに調整して下さい。  17
便座が暖かくない	- 便座温度が適切な温度に調整されていますか。 - 停電になったことはありませんか。 - 電源プラグを抜いたことはありませんか。 - 電源ランプが「点滅」していませんか。 - 本体の便座ランプが点灯していますか。 - 節電中ではありませんか。	「便座」ボタンを押し、適切な温度に調整して下さい。  17 - リモコンのマッサージ(リセット)ボタンを押して「点灯」にしたあと、温度設定など再設定する。  13 - 本体の便座ボタンを押して下さい。  20 - 節電を解除して下さい。  18
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。	
着座するとファンが回る音がする	- 脱臭機能が作動しています。故障ではありません。 - 脱臭フィルタが汚れていませんか。	- 脱臭機能を解除するとファンの回転を停止できます。 - 脱臭フィルタを清掃して下さい。  23
脱臭ファンが回らない	自動脱臭機能が「切」になっていませんか。	脱臭機能を「入」にして下さい。  19
脱臭効果が弱くなった	- 脱臭フィルタが汚れていませんか。 - 脱臭フィルタを清掃しても脱臭効果が得られない場合、便座本体の脱臭カートリッジの交換をお願いします。	- 脱臭フィルタを清掃して下さい。  23 - 修理を依頼して下さい。
便座・便ふたがパタンと落ちる	- 電動開閉中に押さえませんでしたか。 - 便座カバー・便ふたカバーを付けていませんか。	- もう一度「便座」「フタ」ボタンを押して電動開閉しない場合は、電源プラグをコンセントから抜き修理を依頼して下さい。 - カバーを外して使用して下さい。
便ふたが自動開閉しない	- 自動開閉機能が「切」になっていませんか。 - 便ふたを手動で閉じた直後、約15秒間と電源プラグをコンセントに接続した直後約1分間は自動開閉機能が働きません。故障ではありません。製品仕様です。 - 便ふたにカバーが取り付けられていませんか。 - 温水洗浄便座本体に水や汚れや、金属片が付いていませんか。 - 便ふたが正しく取り付けられていますか。	「フタ」「止」ボタンを同時に押して自動開閉機能を「入」にして下さい。 - 時間経過後、感知エリア内で体を動かして下さい。  24 - カバーを外してご使用下さい。 - 付着物を取り除いて下さい。 - 便ふたを正しく取り付けして下さい。  21

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

症状	確認するところ	処置
便ふたが開きっぱなしになっている。 人がいなくても開閉を繰り返している	- 自動開閉機能を「切」にして、便座をあけていませんか。 - 便座の近辺で電子レンジ・無線設備等を使用していませんか。	- リモコンの「フタ」ボタンを押して閉じて下さい。 - 自動開閉機能を「入」にして下さい。 - 便座から遠ざけてください。
便座がカチッと固定できない	本体の固定プレートの固定ボルトが緩んでいませんか	固定プレートをしっかり固定して下さい。
本体がガタつく、ずれる	- 本体が、固定プレートの奥までしっかり押込まれていますか。 - 固定プレートが緩んでいませんか。	- 本体をしっかり押し込んで下さい。 - 固定プレートをしっかり固定して下さい。
便座裏に水滴が付着する	洗浄水の飛び散りにより便座裏に付着した。	- こまめにふき取ってください。 - また、深く腰掛けてご使用いただければ洗浄水の飛び散りが少なくなります。
漏水している	- 給水ホース等が緩んでいませんか。 - 湿度が高く結露していませんか。	- 止水栓を閉めて給水ホース等を正しく取り付けなおしてください。 - こまめにふき取って下さい。 - また、換気を十分にして下さい。
リモコンの操作音が鳴らない	操作音機能を「切」になっていませんか。	操作音機能を「入」にして下さい。
2台以上の製品が同時に動作する	トイレの壁を越えて隣接する製品の信号を受けていませんか。	リモコンパターンを変更する。

上記のことをお調べになり、それでも異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。

仕様

項 目		内 容
定格電源		交流100V 50/60Hz(共用)
定格消費電力		1,070W(本体1,010W、便座60W)
区分		貯湯式
年間消費電力(2012年基準)		146(201)kWh/年 ※1
外形寸法		幅410mmX奥行535mmX高さ150mm
給水方式		水道直結式
質量(便座本体のみ)		約4.8kg
電源コード		長さ1.2m
使用水压範囲 ※2		0.069MPa～0.735MPa
温水洗浄	おしり洗浄	450～550ml/min
	ビデ洗浄	450～550ml/min
	水勢調節	5段(弱～強)
	ノズル位置調節	5段
	温水タンク	0.20L
	温水温度	切、35℃、38℃、40℃
	安全装置	空運転防止制御、温度過昇防止器、温度ヒューズ
脱臭装置	脱臭剤	触媒脱臭
	運転制御	マイコン自動制御(着座センサー連動)
暖房便座	表面温度	切、34℃、36℃、38℃
	安全装置	温度過昇防止器
リモコン電源		単3形乾電池2本
その他の安全装置		漏電遮断回路(内蔵)、着座センサー(内蔵)

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※1 省エネ法(2012年度基準)に基づいて、便座サイズや湯沸し方式などの種類別の算定式により、4人家族(男性2人・女性2人)で1日あたりおしり洗浄4回、ビデ洗浄8回、男性小用4回で使用した場合を基準に算出したものです。
タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算定しております。
()内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力となります。

※2 使用水压範囲以外では、十分な性能が得られない場合があります。
(お願い)本製品は家庭用です。業務用として使用できません。

保証とアフターサービス

保証書と保証期間について

- この温水洗浄便座には、無料修理保証書がついています。
- 無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から2年です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理については、販売店または当社にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

- 温水洗浄便座が正常に動作しないときは、29～31ページの「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- それでも正常に動作しないときはすぐに使用を中止し、必ず電源プラグを抜き止水栓を閉めてから、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。
- アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
 - ① ご住所、お名前、電話番号
 - ② 品番：(例)JCS-580DRA BW1(便ふた内側に貼ってあるラベルの右上に表示しています。)
 - ③ 現象：できるだけ詳しくご説明ください。
 - ④ 訪問ご希望日、道順(付近の目印も)

転居されるときは

- 転居で、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い上げの販売店にご相談ください。ご転居先での取扱店を紹介いたします。
- ※再設置に要する費用は、保証期間内であっても有料です。

部品の保有期間

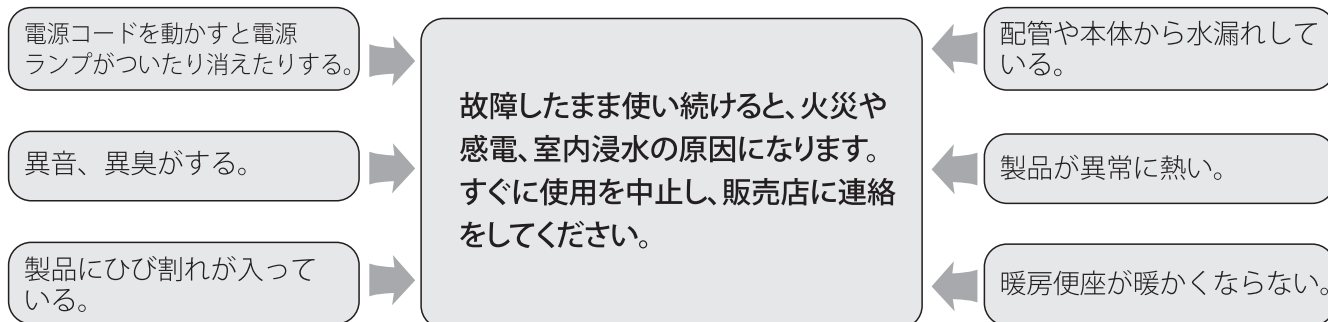
- 当社は、この温水洗浄便座の補修用性能部品を製造打切り後、6年保有しています。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、
日頃から点検を行ってください。

日常点検

- 安全に長くご愛用頂くために、日頃から点検を行ってください。

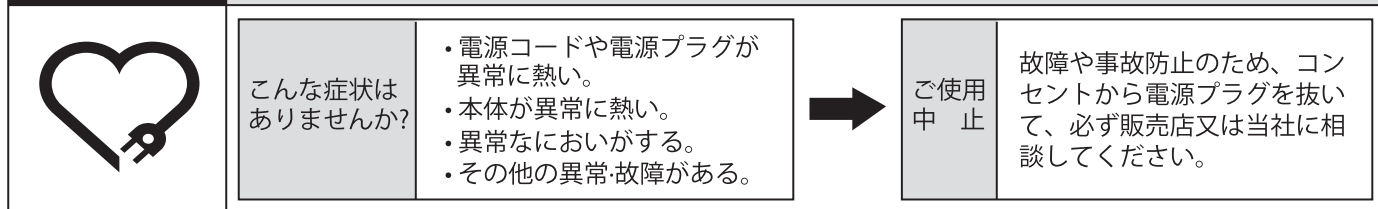


定期点検のおすすめ

- 安全に末永く快適にご使用いただくために、約5年を目途に定期点検を受けていただくことをおすすめします。
(定期点検に要する費用は保証対象外です。)
- 逆流防止装置が磨耗・劣化すると水の逆流の原因になりますので、お早めの交換をおすすめします。

愛情点検

長年ご使用の温水洗浄便座の点検を!



JCS-580DRA 保証書

出張修理

本書は、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。※お買い上げ日・お客様・販売店の欄に記載のない場合は無効になります。必ずご記入ください。

型 名： JCS-580DRA

お買い上げ日 平成 年 月 日 保証期間 お買い上げ日より 2 年

ご住所
お客様：
お名前

ご住所
販売店：
お名前

無料修理規定(保証規定)

- 取扱説明書・ラベルなどの注意書にそった正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合に、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合に、お買い求めの取扱い店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答などで本書に記載の取扱い店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合は有料修理とさせていただきます。
(イ) 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
(ロ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の損傷がある場合。
(ハ) 消耗品の劣化に伴う故障および損傷。
(ニ) 本書の提示がない場合。
(ホ) 本書に取付日・お客様のお名前・取扱店の記入のない場合、あるいは字句が書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理年月日	損 傷 と 処 置	サ ー ビ ス 担 当 者

ジャニス工業株式会社

本社：〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 TEL(0569)35-3151 FAX(0569)34-6634

修理のご依頼および消耗部品のご注文は下記の「修理受付専用フリーダイヤル」へ

フリーダイヤル  0120-117-817

受付時間 9:00～18:00 (土日祝、夏季・年末年始休業日を除く)